

ふ だ い す い も ん

# 普代水門

☑ 下関伊郡普代村第7地割字明神30番地4  
☎ 0194-35-2411 (株式会社青の国ふだい)

## 歴史 (成り立ち)

明治三陸地震(1896年)、昭和  
三陸地震(1933年)、チリ  
地震(1960)と繰り返し三  
陸の海岸を襲った津波は、多  
くの犠牲者を出す大災害をも  
たらした。普代村でも、明治三陸津波で302人、  
昭和三陸津波で137人もの犠牲者を出している。  
昭和59年(1984)に完成した普代水門は高さが  
15.5m、延長は205mある。建設当時の一般  
的な防潮堤の高さ(宮古市田老地区)は概ね10m  
前後であり、各段に高かった。そのため建設を  
反対する声があがったが、当時の村長(故・和  
村幸得氏)が「二度あったことは、三度あって  
はならない」という信念を掲げ、反対の声を抑え、  
15.5mと言われる明治の津波の高さを想定した  
普代水門がここに完成した。

## 震災に まつわる物語

平成23年3月11日午後2時  
46分。宮城県沖でM9.0とい  
う過去に例のない大地震が  
発生。大津波が東日本の太平  
洋沿いを襲い岩手県沿岸でも  
大きな被害を受けた。過去数回の津波では多数の  
犠牲者を出した普代村だが、東日本大震災では死  
者ゼロ、行方不明者1名に被害を止めた。震災直  
後、普代水門脇ゲートの自動開閉措置が故障した  
が、一人の消防士が水門へ向かい、手でゲート  
を閉めた。津波は高さ20mを超えており、水門  
に激突して乗り越えたが、勢いは削がれた。水門  
から普代川上流に遡ってほどなく止まり、小学校  
や集落には浸水被害はなかった。「この水門がな  
かったら……」と消防士は語る。過去の津波の経  
験、元村長 和村氏の強い信念により造られた水門、  
そして村民の防災に対する高い意識が、普代村の  
被害を最小限に抑えた。その功績を称え、平成25  
年3月、水門の隣に顕彰碑が建立された。



先人の英知で村民の命を守った普代水門

# TOPICS

## 見る① 黒崎園地

くろさきえんち

三陸復興国立公園内にある黒崎園地は、断崖が連なる絶景ポイントで三陸ジオパークのジオサイトの一つ。園地内には黒崎灯台、幸せを呼ぶカリヨンの鐘、北緯40度シンボル塔、黒崎オートキャンプ場、アンモ浦展望台、黒崎展望台など観光スポットが多数。黒崎展望台から太平洋を望む眺望は、海の青と空の青で世界につながり、この地を「青の国」と呼んでいる。



☑ 下閉伊郡普代村第2地割字下村 ☑ 0194-35-2411 (株式会社青の国ふだい)  
 ☑ 北緯40度観光体験ハウス前 約20台など多数 ☑ オートキャンプ場は5/1～10/31  
 ☑ オートキャンプ1区画2,000円、フリーキャンプ場1名300円

- 見る
- 食べる
- 遊ぶ
- 泊まる
- コースA
- コースB
- みちのく潮風トレイル

200m

## 遊ぶ② 普代浜園地キラウミ

ふだいひまえんち

弓状に600m伸びる白砂とハマユリが咲き誇る美しい普代浜とキャンプ場があった普代浜園地は、東日本大震災の津波によりその姿を消した。震災から5年経った平成28年7月、「沢山の人に愛され、沢山の人に来ていただきたい」という願いを込め、地元中学生が「キラウミ」と名付けついに復活。白砂とハマユリも本来の姿に戻ろうとがんばっている。園内には「津波石」を利用したベンチも。夏には普代浜海水浴場で8月まで海水浴が楽しめる。



☑ 下閉伊郡普代村第14地割字宇留部154番地1 ☑ 0194-35-2411 (株式会社青の国ふだい) ☑ 50台

## 食べる③ 普代村こんぶ饅頭

ふだいむら うどん

普代村は東北随一の昆布の名産地。普代村産昆布の最も身の厚い部分を粉にして生地に練り込んだのが「普代村こんぶ饅頭」だ。350年間続く日本古来の伝統手延べ技法を守り続ける製麺会社に、普代村役場が製造を委託。独自の半生製法から生まれる昆布の風味と上品な緑色、コシの強さが魅力。ラベルの村長の印から、村役場の熱い思いが伝わる。ご購入は普代駅や国民宿舎くろさき荘で。



☑ 下閉伊郡普代村第9地割字銅屋5番地3 ☑ 0194-35-2411 (株式会社青の国ふだい)  
 ☑ 2人前 (180g) 360円～

## 見る④

ふだいしょうてんがい

## 普代商店街

小さな村の中心に位置する小さな商店街。雑貨屋さん・魚屋さん・肉屋さん・お菓子屋さん・酒屋さん・米屋さん・靴屋さん・家電屋さん・床屋さん・文具屋さん・クリーニング屋さん・ガソリンスタンド等々、何でも揃う。各店の特色や店主の個性にふれあいながら、ぶらぶらと歩いてみては。



☑ 下閉伊郡普代村第13地割字普代 ☑ 0194-35-2132 (普代商工会)  
 ☑ 店舗による

## 食べる⑤

おおかみしよくだう

## 大上食堂

昭和47年から続いた人気店が津波で倒壊。応援してくれるお客さんへの恩返しにと、翌年には新規開店した店主の大上澄子さん。「普代に来たなら浜のものを」と始めた「磯ラーメン」や「めかぶとろろ丼」も健在。小鉢でつく「すき昆布」など、浜のおかあさんの味にふれあえる。



☑ 下閉伊郡普代村第6地割字中山29番地2 ☑ 0194-35-2721 ☑ 10台  
 ☑ 11:00～15:00 ☑ 不定休

## 食べる⑥

うおさだ

## 魚定

津波で被災したが、仲間の漁師がくれた「魚定」の看板を近くの波消ブロックで見つけ奮起、平成24年に再び開店。いわて三陸駅—グルメ認定店で、具沢山の「磯ラーメン」や「刺身定食」は、大満足のボリューム。ご夫婦のおおらかな人柄も魅力の一つ。



☑ 下閉伊郡普代村第6地割字中山29番地2 ☑ 0194-35-3011 ☑ 10台  
 ☑ 毎月～金 11:00～15:00 18:00～20:00  
 土日 11:00～20:00 ☑ 日曜不定休

## 遊ぶ⑦

しおかげ

## みちのく潮風トレイル

ふたむら 田代村南部～田野畑村ルート

みちのく潮風トレイルの普代南部ルート(海のアルプス編)として平成29年1月に認定。村内ルートの中でもネダリ浜から黒崎漁港の間は、最もダイナミックで美しい景観と自然の息吹きを肌で感じられる。歩けば、改めて自然との共存の重要さに気づかされる。



☑ 下閉伊郡普代村地内 ☑ 0194-35-0194-35-2411 (株式会社青の国ふだい)





広域地図

# DATA BANK

料金・施設などのデータは、2017年3月現在のものです。

## 泊まる

	名称	ひとことコメント	インフォメーション
8	こくみんしゆくしや 国民宿舎 くろさき荘	黒崎の断崖の上に 立つ絶景のお宿	☑️ 下閉伊郡普代村第2地割字下村84番地4 ☎️ 0194-35-2611 ☑️ 50台 ☑️ 1泊2食 大人1名7,020円〜12,420円／素泊まり 大人1名4,320円〜9,720円 
9	みんしゆく 味ん宿みちあい	漁師が営む新鮮磯料理の民宿	☑️ 下閉伊郡普代村第2地割字下村17番地 ☎️ 0194-35-2555 ☑️ 約10台 ☑️ 1泊2食 大人1名6,500円〜／長期滞在 大人1名6,000円〜 

## 食べる

	名称	ひとことコメント	インフォメーション
10	びーたーずばーぐ Peters burg	ほっと安らぐ洋食カフェ・レストラン。普代駅に隣接	☑️ 下閉伊郡普代村第9地割字銅屋5番地3 ☎️ 0194-63-1799 ☑️ 約20台 ☑️ 10:00〜17:00 ☑️ 土日祝
11	きんちゃん寿司	鮮度抜群の三陸の地魚をお得に味わえる	☑️ 下閉伊郡普代村第9地割字銅屋1番地14 ☎️ 0194-35-2290 ☑️ 約5台 ☑️ 18:00〜23:00 ※要予約 ☑️ 不定休
12	みつよし食堂	人気メニューこだわり「カツ丼」が絶品!	☑️ 下閉伊郡普代村第9地割字銅屋10番地8 ☎️ 0194-35-2207 ☑️ 6台 ☑️ 11:30〜20:00 ☑️ 日曜
13	あじごころ 味処ながさわ	若い主人がふるまう地元食材にこだわった田舎料理	☑️ 下閉伊郡普代村第13地割112番地1 ☎️ 0194-35-2313 ☑️ 約5台 ☑️ 18:00〜23:00 ※星は予約のみ ☑️ 日曜・祝
14	しよくじごころ お食事処いち龍	「麻婆ラーメン」や「イカ納豆丼」にハマリ通い詰める人も	☑️ 下閉伊郡普代村第14地割字宇留部111番地15 ☎️ 0194-35-2653 ☑️ 10台 ☑️ 11:00〜20:00 ☑️ 年中無休
15	レストハウス うしお	青い海を眺めながら、庶民派価格で海の幸が楽しめる	☑️ 下閉伊郡普代村第19地割字白井104番地13 ☎️ 0194-35-3450 ☑️ 20台 ☑️ 夏期10:00〜17:00 他11:00〜15:00 ☑️ 年中無休


## 書籍

タイトル	ひとことコメント
ふだいむらひがしにほんだいにさい 普代村東日本大震災 きなくし 記録誌	東日本大震災の全貌と教訓を後世に語り継ぎ、今後の災害発生時の行動指針とするよう平成26年7月に発刊。震災時の初動対応や復旧・復興へ向けた取り組みが綴られている。価格は1,800円。ご購入は普代駅内「アンテナショップあいで」か、普代村役場 総務課で
子どもたちの つなみたいけん 津波体験	昭和8年の三陸大津波。当時の子どもたちが遭遇した突然の大惨事の様子が鮮明に浮かぶ。写真や作文集を保管していた元普代小教諭 橋場敬三氏（宮古市）のインタビューも収録。普代村教育委員会発行。価格600円

国民宿舎くろさき荘に宿泊し、新鮮な海の幸を堪能した翌日は、みちのく潮風トレイルの中でも極めてダイナミックで美しい普代南部ルート～海のアルプス編～を踏破し、普代水門に到達。巡礼地からのコースでは、顕彰碑から実際に普代水門を渡り、白砂と水面が輝く普代浜園地キラウミへ、個性あふれる普代商店街の散策など、さまざまな体験が。

## 普代っ子 ご推せん

## ウォーキング コース

コース A	国民宿舎くろさき荘 - 1.2km・15分 - ネダリ浜 - 0.8km・10分 - 黒崎漁港 - 2.0km・25分 - 太田名部漁港・太田名部防潮堤 - 1.2km・15分 - 普代水門(巡礼地)	
コース B	普代水門(巡礼地) - 0.2km・2.5分 - 顕彰碑 - 0.6km・7.5分 - 普代浜園地キラウミ - 1.6km・20分 - 普代商店街 - 0.8km・10分 - 三陸鉄道普代駅	